



# 「日本」の終わりをなき戦い講演

## 有名医師が新しい生活様式提言



懇話会感謝イベント

このイベントは、日本国外務省が海外在留邦人・日系人の生活・ビジネス基盤強化事業に...



県人会郷土料理販売

- イカ焼き(ご飯付) 45レアル
シウクリーム9レ
埼玉県(事前予約24日迄) 注文先ワッツアップ119330265

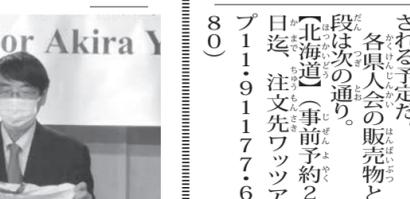
「約2年ぶりのイベントです。ぜひ皆さん岩手県人会名物の美味しいうなぎ餅をぜひどうぞ」

霧島の太目のママさんを、山下さんは「どんげん」つまり豚カツの原料と呼んでいたが、気風のいい女傑で、おやじを尊敬して...

# 山田彰大使お疲れ様でした!

## 日系5団体が盛大に送別会

11月23日付けで帰朝が決定した山田彰駐ブラジル日本国特命全権大使の送別会が、10月27日に聖市のブラジル日本文化福祉協会の貴賓室で盛大に行われた。



後、各日系5団体からブレゼントを受け取り記念撮影。その後、同協会の後任は、中南米局長を...

山田大使は「在任中に多くの日系人、日系社会に大変お世話になった。残念なことにはコロナ禍が始まり対面での機会が減ってしまった。そんな中でもこのように送別会を開いてくれて本当に嬉しい。日系社会も新しい世代に変わっている最中で...

「約2年ぶりのイベントです。ぜひ皆さん岩手県人会名物の美味しいうなぎ餅をぜひどうぞ」

霧島の太目のママさんを、山下さんは「どんげん」つまり豚カツの原料と呼んでいたが、気風のいい女傑で、おやじを尊敬して...

山田大使は2017年8月に着任。任期中はブラジルとの外交に尽力するのみならず、パラ州トメアスで開催された「アマゾン日本人移住90周年式典」や、「モジ秋祭り」に参加するなど日系社会のイベントにも積極的に参加してきた。

山田大使は「在任中に多くの日系人、日系社会に大変お世話になった。残念なことにはコロナ禍が始まり対面での機会が減ってしまった。そんな中でもこのように送別会を開いてくれて本当に嬉しい。日系社会も新しい世代に変わっている最中で...



左から日伯文化連盟の吉田エドアルド理事長、県連の市川利雄会長、サンパウロ日伯援護協会の税田パウロ清七会長、山田大使、文協の石川会長、桑名良輔在聖領事、ブラジル日本商工会議所の村田俊典会頭

山田大使が好きなブラジルの食べ物「シウラスカリアの肉」とフルーツだとか。大使は「色々な種類の肉が次から次に回ってくる。好き嫌い食べるのが本場に好き。ブラ...

「約2年ぶりのイベントです。ぜひ皆さん岩手県人会名物の美味しいうなぎ餅をぜひどうぞ」

霧島の太目のママさんを、山下さんは「どんげん」つまり豚カツの原料と呼んでいたが、気風のいい女傑で、おやじを尊敬して...

プロボリス専門店 ムラサン健康食品 MURASAN PRODUTOS NATURAIS

ピラ・マリアーナ 物件紹介 徒歩3分 土地面積約370㎡・10x3階建て

繁田一家の残党 ハナフサアキラ (15)

こくさいは にほんじん ようせい  
**国際派日本人養成講座**  
 伊勢雅臣

2021年9月26日版  
**キリシタン原理主義から国を守った武将たち**  
**キリシタン宣教師の野望**

**1. 殉教者は天国にいけるといふ信仰**  
 2001年9月1日のアメリカ同時多発テロ事件から、はや20年経ちました。イスラム過激派テロ組織「アルカイダ」の指導者ウサー・ビン・ラーディンは、事件後に布告を出して、アメリカに対するジハード(聖戦)を宣言し、「アメリカとその同盟国の国民を、民間人、軍人を問わず、殺害する」とはすべてのイスラム教徒の義務である」と述べました。「PBS」

イスラム・テロリストたちは、民間旅客機をハイジャックし、自ら操縦して、ワールドトレードセンタービルに突入したのですが、こうしたジハード(聖戦)で死んだ者は、殉教者の名譽を勝ち得ます。イスラム・テロでは少年少女までも自爆攻撃に向かわせるケースも断ちません。

こうした中世的な原理主義は、戦国時代に日本にやってきました。キリスト教宣教師たちにも見られました。家康が慶長17(1612)年にキリシタン禁教令を発すると、スペインが支配するマニラ政府は宣教師の渡日を禁止したのですが、各修道会は日本で殉教するのを最高の名譽と心得ていたので、一片の法令で宣教師の渡日を禁ずるも効き目はなかつた、といひます。【渡辺 6, 270】

元和3(1617)年、秀忠が禁教を強化した翌年に逮捕されたイエズス会司祭ジョアン・パウティスタは斬首されましたが、6,7歳の頃から、日本に行つて殉教者になりたいと夢見ていたそうです。【渡辺 5, 495】

**2. 「罪の償いのためには 道すがら見かけた寺を 焼くことだ」**  
 第一の理由は、日本国内で宣教師たちが神道や仏教を攻撃してやまなかつた事です。たとえば、次の具体例からも窺えます。

フロイスはゆめゆめと次の話を録している。あるキリシタン(注: 日本人キリスト教徒)が四旬節の折にコエリユを訪ね、罪の償いのために何をしたらよいか教えをうると、コエリユは道すがら見かけた寺を焼くことだと答えた。信徒は帰り道で大きな美しい寺院に出会うと早速放火し、寺院は全焼した。【渡辺 2, 173】

またキリシタン大名・有馬晴信の領有する肥前国では、次のような逸話がありました。

コエリユはフロイス以下修道士や若者を率いてその山に渡り、岩殿と呼ばれる洞窟の中にあつたおびただしい仏像を取り出し、大きく取り出せぬものはその場で火をつけた。残りの仏像は、教理を習つてゐる少年たちを召集して口津の司祭館へ運ばせた。彼らは仏像を身ぎすり、唾をかけた。

加津佐の住民たちは「男も女も子供も戸口に出て、その哀れな運命に同情を示していた。その後仏像は司祭館の炊事場の薪となつた、フロイスは得々と書いてゐる。驚ろくべきなのは、住民の悲しみを叙して平然たるフロイスの神経ではなからうか。おのれをなすと善く善く真理と信じこむ狂信の常といふべきか。【渡辺 3, 233】

現代のタリバンも、2001年3月にアフガニスタンにあつた古代の巨大石仏2体を破壊しています。同じことをキリシタンもやつていたのでした。

キリシタン大名の高山右近は、領内の僧侶に宣教師の説教を聞くよう強制し、改宗しない僧を追放すると宣言しました。100人に及ぶ僧侶が洗礼を受け、寺は教会に変わったと伝えられています。【渡辺 3, 172】

**3. キリスト教以外の宗教は すべて悪魔のたぶらかし**  
 なぜキリシタンは、これほど異教に対して攻撃的だったのでしょうか。次の一文が、説明しています。

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心ももてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張つたり、普段は邦字紙を読まない兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。  
 (ニッケイ新聞編集部)

戦国時代には戦争捕虜や、誘拐されたり親に売られた子供が数千人規模で、奴隷としてポルトガル人によつて東南アジアからポルトガル本国、中南米にまで「輸出」されていきました。

秀吉は、パレン追放令を出す直前に、日本標準区長ガスパール・コエリユに、「ポルトガル人が日本人を奴隷として購入し、海外へ運ぶのは許されぬ行為である。連行された日本人を連れ戻すよう取り計らえ」と詰問しています。【渡辺 3, 434】

こうした奴隷売買に宣教師たちは協力していたのです。というのは、キリスト教徒の奴隷になることを望む者があつたので、それによつて、異教徒はよく「人間」となると考えていたからです。異教徒のような「動物」であるよりも、奴隷であっても「人間」になつた方がよい。それが本人の幸せでもあるし、またそうすることが神への奉仕となる、という考えです。

**4. 奴隷であっても 「人間」 になつた方がよい**  
 こうした当時のキリスト教の考え方を理解すると、キリシタンがなぜ日本人を奴隷として海外に売らさばく商売に關与していたのか、も理解できます。日本人奴隷が世界の各地に売られ飛ばされたことは、各地の古文書などで記録に残っています。たとえばアルゼンチンの古都ゴルドバでは、「日本州出身の日本人種、フランシスコ・ハボン(21歳、戦利品、捕虜)で担保なし、人頭税なしの奴隷を800ペソで売る」という記録が残っています。

**5. シナ征服のために 日本人キリスト教徒を送る**  
 キリスト教では、神と悪魔が戦つており、キリスト教以外の宗教はすべて悪魔のたぶらかしに過ぎないので、まず異教を破壊する必要がある、と信じています。彼らにとっては日本人の先祖崇拜も「悪魔のそそのかし」に過ぎません。宣教師たちは、彼らの説教を聞いた子供たちが先祖の墓をさんざん破壊した、と誇らしげに語つています。

異教を滅ぼすことが神への奉仕と考えるのですから、神社仏閣を破壊することも、「改心」しない仏僧や神官を殺すことも、神への奉仕なのです。ウサー・ビン・ラーディンが、アメリカとその同盟国の国民を殺害することはすべてのイスラム教徒の義務である」と述べているのも、彼にすれば当然の事なのです。

神への奉仕の最高純粋の形が殉教です。悪魔との戦いにおいて、神からいただいた生命を神のために使うのですから、キリスト教徒全員が称賛すべき名譽なのです。

**6. 拷問は殺さずに 棄教させようとしたから**  
 キリシタンを手取り早く根絶したいのなら、宣教師であれ信者であれ、見つけ次第殺せばよいのだ。殺さずに棄教させようとしたから拷問という手段に訴え、相手の頑強さに比例して、拷問の残酷さもエスカレートしたのである。【渡辺 5, 828】

疑い始めたようです。秀吉の疑念は的を射ていました。ただ宣教師たちは日本は強すぎるので、征服には向かない、それよりも中国の征服に日本人を使つた方がよいと考えるようになっていきました。10年以上も日本に留まつたイエズス会日本布教長を努めたフランシスコ・カブラルは、この前年、1584年6月27日付けで、スペイン国王アフォンソに、シナ征服の利を説いて、次にように書いています。

日本に駐在しているイエズス会のバードレ(神父)達が容易に2,3千人の日本人キリスト教徒を送ることができる。彼等は打ち続く戦争に従軍している。陸、海の戦間に大変勇敢な兵隊であり、月に1エスクード半または2エスクードの給料で、娯楽としてこの征服事業に馳せ参じ、陛下にご奉公するであらう。【高瀬, P95】

当時、スペインとポルトガルは世界征服を目指しており、イエズス会はその尖兵として働いていたのです。世界を植民地化することは、悪魔に操られてゐる世界中の異教徒を、キリスト教徒という本来の「人間」にすることであり、これも偉大な神への奉仕と考へたのです。世界植民地化は、彼らの宗教的情熱によつて、後押しされていきました。

秀吉のキリシタンへの懸念は、徳川家康にも受け継がれ、慶長19(1614)年には全国に禁教令と宣教師の追放令が出されました。しかし、幕府側の厳しい摘発にもかかわらず、殉教者が相次いでいきました。キリシタンに棄教を迫る激しい拷問がなされたが、これについては、渡辺京二氏は次のように指摘しています。

興味深いことに、渡辺京二氏はこの「千年王国論」は共産革命の「革命後に労働者の天国が実現する」という理想と同型であり、また「イエズス会は共産主義前衛党のまき散り先鋒(先例)」といわねばならぬとも言われています。確かに共産主義では「目的は手段を正当化する」として、殺人テロも革命に近づけるための手段として正当化されます。

秀吉から徳川に受け継がれたキリシタンとの戦いは、スペイン、ポルトガルの植民地主義から国を守つたものであり、同じキリスト教でもオランダとは平和的な交渉を続けていきました。これを「封建制を守るために高等宗教のキリスト教を禁じて鎖国を行い、それによつて日本は世界の進歩から取り残された」などと考えるのは、史実を無視した歴史観です。

**7. 島原の乱は 「千年王国運動」 の一種**  
 その翌々年、寛永14(1637)年、島原の乱が起り、数千人規模の「罪のない人の血」が流されました。この乱は、飢饉と領主の圧政に苦しんだ農民の反乱という見方がありますが、それは説明的かつない史実がいづつもありません。

まず、揆勢は、周囲の村々に「キリシタンに改宗せぬ限り殺す」と宣言してました。それに抵抗して、幕府方について一揆と戦つた村もあります。また一揆勢は城下町で放火、略奪を行い、逃げ遅れた女性を拉致し、城下の寺院、神社を焼き払い、住持の首を切り、指物にして、城の大手口に押し寄せました。

渡辺京二氏も三浦小太郎氏も、島原の乱が西歐の中世後期に頻発した「千年王国運動」の一種だと指摘しています。「千年王国」とは終末の日が近づき、キリストが直接地上を支配する千年王国が実現する、という夢想です。それを示す史実があります。

村々には機文が配られた。そこには「天人」と呼ばれる神の使者が地上に降りたり、全能の神の審判が下される。キリシタンとなつて「天人」天草四郎に從はばテウスの手で地獄に落とされると書かれていた。【三浦 2, 635】

至福の千年王国に入るためには、天草四郎に從つて改宗しないものは殺して神に奉仕しなければならぬ。その戦いにおいて命を落としても、それは名譽ある殉教だ。一揆勢は、まさに千年王国を夢見て戦いました。その夢想によつて、数千人規模の「罪のない人の血」が流されたのです。

【台北共同】青森県八戸市の一王寺遺跡から国内最古となる縄文時代中期前半(約5300、5100年前)の土面が出土し、市埋蔵文化財センターは縄文文化財13日、展示を始めた。土面は粘土を薄く焼き固め、人の顔を表現したもの。これまで最古だった矢野遺跡(徳島市)のものより千年以上古く、縄文文化を考える上で貴重な史料となる。

土面は儀式や祭りに用いられたとされ、縄文時代のものは全国で少な

くとも1500点見つかつてゐる。発掘調査のリーダーを務めた同館の渡辺子さんは「土面の歴史を知る重要な手がかりになる」としている。展示は28日まで。同館によると、今回出土したのは長さ8センチ、幅8.1センチ、厚さ1.2センチ。右下の4分の1程度が欠けており、貫通した穴で目を、粘土もも眉をそれぞれ表現している。ひもを通す穴はなく、手で掲げるように使つたとみられる。

一王寺遺跡は世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」を構成する是川石器時代遺跡の一部。土面は今年6月の発掘調査で、土器捨て場から見つかった。表面の模様は縄文時代中期前半の特徴的な装飾で、周囲から同時期の土器片も見つかつてゐることから年代を特定した。

**8. 国を守るためには、 国に入れてはならない ものがある**  
 興味深いことに、渡辺京二氏はこの「千年王国論」は共産革命の「革命後に労働者の天国が実現する」という理想と同型であり、また「イエズス会は共産主義前衛党のまき散り先鋒(先例)」といわねばならぬとも言われています。確かに共産主義では「目的は手段を正当化する」として、殺人テロも革命に近づけるための手段として正当化されます。

秀吉から徳川に受け継がれたキリシタンとの戦いは、スペイン、ポルトガルの植民地主義から国を守つたものであり、同じキリスト教でもオランダとは平和的な交渉を続けていきました。これを「封建制を守るために高等宗教のキリスト教を禁じて鎖国を行い、それによつて日本は世界の進歩から取り残された」などと考えるのは、史実を無視した歴史観です。

我が国がメキシコやフィリピンのようにならずじやないのは先人の戦いのお陰です。そして、その歴史から「国を守るためには、国に入れてはならないものがある」という免疫機能の必要性を学ばなければなりません。特に侵略的な主体主義国家が世界を脅かしている現代においては、(文責 伊勢雅臣)

**国際派日本人養成講座**  
 発行人=伊勢雅臣(文責)  
 Mail: ise.masaomi@gmail.com  
 Twitter: https://twitter.com/ise\_masaomi  
 無料購読申込・取消: http://blog.jog-net.jp/

**国内最古の縄文土面出土 青森、従来より千年古く**

「千年王国運動」の一種





